

平成30年度 学校自己評価システムシート

(県立秩父高等学校)

n 0 7

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	礼節と主体性を備えた人材を育成し、地域の期待に応える活力ある進学校を目指す。	
重点目標	1 更なる授業改善に取り組み、主体的に学ぶ生徒の育成に取り組む。 2 高い志を育み、生徒一人一人の進路を実現させる 3 積極的な情報発信を行い、地域の期待に応える学校づくりに取り組む。 4 生徒一人一人に寄り添い、将来のリーダーとしてふさわしい礼節と主体性を備えた生徒を育成する。	【学力向上】 【進路指導】 【開かれた学校づくり】 【知徳体を備えた人材育成】

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	8名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	3名

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					30年度評価(2月1日現在)		学校関係者評価	
年 度 目 標					30年度評価(2月1日現在)		実施日 平成31年2月15日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	競	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	・現状 意欲的に、目標を持って取り組む生徒がいる一方、基礎的な学力が乏しい生徒もいる。 ・課題 意欲や学力に差があることを踏まえ、一人一人の学力を向上させる必要がある。そのための組織的な指導と教員の指導力を高める必要がある。	大学入試制度改革や新学習指導への対応を踏まえ、教員の指導力を高め生徒の学力を向上させる。	①アクティブラーニングを導入して、生徒が主体的に学べる授業を展開して、考える力や表現力を育成する。 ②1年生には、朝小テストの数学にスタディサプリを導入して、効率的に基礎学力を定着させる。 ③スタディーサポートなどを活用して、生徒の家庭学習時間を増やす。 ④新学習指導要領や大学入試改革についての教科会を増やし、先行的に対応した指導を実施する。 ⑤来年度から始まる隔週土曜日授業について企画委員会や教育課程委員会で円滑な導入に向けて準備する。	①前年度よりアクティブラーニングを取り入れた割合が増えたか？ ②1年生の数学の基礎力が向上したか。 ③家庭学習時間週20時間以上実施した生徒の割合が35%以上に達したか。 ④教科別研修会2回以上、授業公開を3回以上、学習指導に関わる職員研修会を2回以上実施したか。 ⑤隔週土曜日授業に向けた準備が混乱なくできたか。	①高大接続改革に向けて、各教科で着々と準備を進めている。授業ではアクティブラーニングを取り入れている教員が10%増えた。 ②評価の平均で、数Iが1学期2.8から2学期3.1に上昇したクラスもあるなど、1年生全体で数Iが102%、数Aが104%上昇した。 ③平日の学習時間は1年生は1時間が29.0%、2年生が1時間24.3%で最も多く、休日でも1年生が2時間24.7%、2年生14.6%であった。 ④教科別研修会は7月と12月に実施し、高大接続改革と新学習指導要領の実施に向けた対策を協議した。授業公開は5月と11月に実施し、昨年度よりも多くの保護者が来校した。 ⑤来年度からの隔週土曜日授業に向けて、時間割、部活動、土曜日の特別補習講座や平日の補習について決定した。	A	・個々の資質・能力に応じた力をつけるために、アクティブラーニングの一層の充実を図る。 ・隔週土曜日授業を効率的に運用して、学力の向上とともに、部活動や学校行事をさらなる活性化に努める。 ・スタディサプリを活用した学習方法や英語4技能の向上を図るためのGTECへの対応など新たな学習指導方法を取り入れて新学習指導要領への対応を促進する。	隔週土曜日授業に向けての準備や調整が大変かと思うが、全教職員が一丸となって、全生徒の学力向上に向けて取り組んでいただきたい。平日の放課後は部活動や委員科会活動等ぜひ有効に活用していただきたい。 学力向上に向けて中学校で「学びあい」を実施している。高校でも実践してみてもどうか。 中学校と部活動がつながるような連携関係をつくって、目玉になる部活動がほしい。
2	・現状 将来の夢や目標が定まらない生徒や、その実現に向けてどのように取り組むべきかがわからず、きめの細かい指導を必要とする生徒が多い。 ・課題 個人面談や進路関係の講演会、行事を充実させる必要があるが、生徒の心に火をつける手立てを構築する必要がある。	生徒に高い志を持たせ、第一希望の進路を実現させる。	①進路ガイダンス、進路講演会及びキャリア教育講演会などを組織的に実施し、保護者の参加も促す。 ②個別面談、三者面談を繰り返し実施し、生徒に諦めさせない指導を実施する。 ③オーストラリア語学研修や姉妹校来校などの国際交流事業や学校間ネットワーク会議を活用し様々な体験を実施する。 ④模試の検討会等を開催してデータを共有し、生徒の実力向上に活かす。 ⑤志望校検討会で情報を共有して、より高い目標を持たせて受験させる。	①生徒アンケートで「高い目標を持ち、妥協しない自分づくりに努めた」の回答が前年度より上昇したか。 ②個人面談を全クラスで少なくとも4回以上実施したか。 ③オーストラリア語学研修参加者やロビーナ高校生受入生徒の国際交流体験の評価が高かったか。 ④外部模試偏差値60以上の生徒数の割合が前年度より増えたか。 ⑤国公立大学現役合格20名以上を達成したか。	①昨年度64.7%から今年度73.7%と9ポイント上昇した。 ②4月二者面談、6月三者面談、7月二者面談、11月二者面談、12月二者面談を実施した。担任によっては更に多くの面談を行っている。 ③アンケート結果では、参加した生徒、受け入れた生徒とも好評であった。特に受け入れについては、短期間であったにもかかわらず見送りの際は両校の生徒が惜別の情であふれていたほどであった。 ④理系では若干増えたが、国数英の総合では1・2年生とも同数であった。 ⑤推薦試験で筑波大学、群馬大学に1名ずつ合格した。	A	・1年生の持っていた高い意識を3年生になって受験するまで維持させるための進路指導をさらに強化する。 ・個人面談等で個々の生徒への対応を継続的に実施する。 ・外部模試のあり方を隔週土曜日授業との関連の中で効果的になるよう調整する。 ・個々の進路希望を尊重しつつもより高い目標に向かわせる指導に取り組み、進路実績の充実を図る。	定員割れをしている大学も多くある。易きに流れて、とりあえずどこかの大学に入れればよいという考えでは生徒自身がそのあと苦勞する。 高校選びから都市部へ流れる傾向が強い中、地方の進学校は厳しい状況かと思うが、全教員が覚悟を持って進学実績向上に向けて取り組んでいただきたい。
3	・現状 2年続けて定員確保することができなかったこと。 ・課題 地域の子供たちが減少していく中で、本校への入学を希望する生徒をいかに増やすか、中学生にとって魅力ある高校づくりが強く求められている。	本校の魅力をさらにPRして、入学者の定員を確保する。	①在校生の言葉で伝えるなど、効果的に情報発信するとともに、地域のイベントへの参加や部活動を通じて、本校の魅力を中学生や保護者に伝える。 ②学校説明会や個別相談会の内容を充実させて、中学校訪問や学習塾訪問を組織的に行う。 ③生徒会など在校生の活用やPTAの協力で学校説明会や個別相談会への参加者を増やす。 ④PTA、後援会、同窓会から協力を得て、快適な学習環境を整備する。 ⑤地域のイベントに参加したり、チャレンジスクールや中学校の上級学校訪問など小中との連携をさらに深める。	①中学生への定期的な情報提供、HPの更新等、有効な広報活動を展開したか。 ②飯能方面、寄居方面からの参加者が30組以上に達したか。また訪問先を新規開拓できたか。 ③入学志願者倍率1.05倍を達成したか。 ④前年度より快適な施設・設備が充実したか。 ⑤地域のイベントに参加した生徒が昨年より増えたか。	①学校通信を地域の回覧板に載せてもらった。管理職や教諭による中学校訪問を実施した。ホームページを逐次更新している。来年度からホームページをリニューアルする方向で検討している。 ②28組であった。寄居、飯能方面は昨年度新規に開拓したため今年度は昨年度と同様である。 ③12月時点で0.80倍となった。 ④夏季休業中にHR棟東側のトイレを1F～4Fすべて改修した。 ⑤秩父宮杯自転車競技大会のボランティア役員をはじめ、交通安全や地域のショッピングモールでの演奏、老人ホームでの発表など多くの生徒が地域で活躍した。	B	・ホームページについては、同窓生の力を借りて、本校の魅力をしっかり発信できるものにする方向で検討する。 ・隔週土曜日授業となった新たな秩父高校で、生徒・保護者の満足度を上げ、地域への評価を高める教育を実践する。 ・HR棟西側のトイレの改修とHR棟、特別教室棟の床の改修の早期実現に取り組んでいく。 ・ボランティア活動に積極的に参加して地域とのつながりをさらに深める。	学校ホームページは情報発信にとって、とても重要である。中学生、保護者、地域の方々に積極的に逐次更新をしてPRしてほしい。学校通信を地域の回覧板に入れてもらうといういわば足下からという取り組みは良い。 秩父は電車の便という点で東京から軽井沢に行くより時間がかかるというハンディキャップがある。他校では最寄り駅でイベントを開催するとか学校案内やパンフレットなどを置かせてもらっても良いのではないかと。 各界で活躍している卒業生をもっとPRしてもいいと思う。
4	・現状 元気な挨拶や品格を備えた秩父高校生としての振る舞いができない生徒が少なからずいる。また、悩みを抱えカウンセリングなどが必要な生徒が増えてきた。 ・課題 部活動や学校行事への取り組みを充実させて生徒の主体性を向上させる必要である。	生徒の礼節と自主性を育む。	①「生徒努力項目」を励行し、教職員・生徒・家庭が連携し、特に整容指導については徹底を図る。 ②特別活動(部活動・学校行事等)をさらに充実させて生徒の自主性を一層育む。 ③諸活動を通して自校に誇りを持たせる。 ④支援委員会を中心に、カウンセリングに関する教員研修等を実施して、教育相談を充実させる。	①「規律ある学校生活」の項目が90%以上に達したか。 ②特別活動の自己評価が85%以上に達したか。 ③「秩父高校生としての自覚と責任」を感じている生徒が95%以上いるか。 ④「先生方による相談対応」の項目で、生徒評価が昨年度より上昇したか。	①「規律ある学校生活を送るための生活指導が適切に行われている」は86%であった。 ②「文化祭、体育祭、球技大会などの学校行事が充実している」は75.7%であった。 ③「服装等身だしなみをしっかりし、秩父高校生としてふさわしい行動をとった。」は90.8%であった。 ④昨年度72.7%から今年度83.3%で、10.6ポイント上昇した。	B	・伝統ある秩高生としての自信とプライドを持たせるような指導をさらに進めて、生徒の自覚を促す。 ・生徒会を中心に学校行事のさらなる充実・発展に取り組む。 ・進路や友人関係などで悩みを抱える生徒に対応するため、教員のカウンセリングマインドを高めるための研修会を開催するなどして、教育相談体制の強化を図る。	施設設備は今後もトイレ、床等整備してほしい。さらに清掃も丁寧にして綺麗に大事に使用してほしい。 文化祭を2日間公開にするなど、もっと盛り上げてほしい。学校全体としての文化祭のコンセプトをもっとはっきりさせ、強調するとさらに盛り上がるのではないかと。集客を増やすにはまず、自分たちが楽しんで取り組んでいなければならぬ、企画から十分練って協力し合って頑張っていたいただきたい。 女子の制服はおおむね好評である。素材がもっと良くなればさらに良い。